

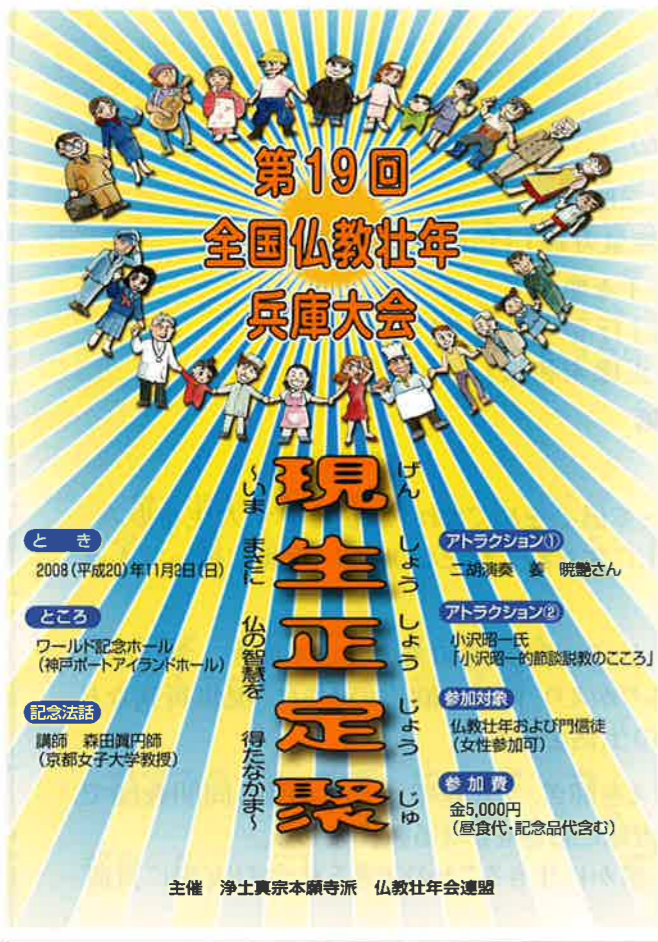
HIO YOG

教区新報

2008. 7 155号

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650-0011 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号
(本願寺神戸別院内)
電話 神戸(078)341-5949(代)
【編集】教区基推委広報部

発行所



第19回 全国仏教壮年 兵庫大会

現生正定聚

いままで 仏の智慧を 得なかつた

と き 2008(平成20)年11月2日(日)

と ころ ワールド記念ホール(神戸ポートアイランドホール)

記念法話 講師 森田眞円師(京都女子大学教授)

アトラクション① 二胡演奏 姜 晚晴さん

アトラクション② 小沢昭一氏「小沢昭一節節談話のこころ」

参加対象 仏教壮年および門信徒(女性参加可)

参加費 金5,000円(昼食代・記念品代含む)

主催 浄土真宗本願寺派 仏教壮年会連盟

11月2日(日) 第19回全国仏教壮年兵庫大会に向けて

いよいよ2008(平成20)年に全国より仏教壮年が、開催地ワールド記念ホール(神戸ポートアイランドホール)に集まる。阪神・淡路大震災より13年経過をして未曾有の被害から立ち直り、命の大切さや人と人とのつながり、助け合いの心など日本人にボランティア

アの心の灯をともした復興の地神戸で開催されることは、地元兵庫教区仏教壮年連盟としても大きな喜びであり誇りに思う。

兵庫教区においても基幹運動推進委員会が運動の重点目標として、全寺院での仏教結成を目指した取り組みにご支

援をいただきながら進めてきたが、結成26ヶ寺で34%の結成率、未結成寺院への3名の代表者登録も60%にとどまっている。また、仏教自身も働き盛りの年代として自己中心的な社会状況の中、念仏者としてみ教えを伝え社会の課題に向き合う姿勢も問われている。

本山においても2008(平成20)年4月1日連盟化としてスタートを切った。

これまでの経過と課題をふまえ、さらなる発展と自主自

立の活動を進めていきたい。兵庫教区仏教壮年連盟も現状を後退させる事なく本山の連盟化に協調し、参画を進め仏教の活性化と組織の充実を図っていく所存である。

全国大会を機縁に仏教の「自助」、基幹運動推進委員会の「公助」、寺族婦人会・仏教婦人会・門徒総代会・門徒推進員等の「共助」の協働が望まれる。実行委員会の役割分担にご支援・協力を賜りたい。

全国大会には、ご門主様のご臨席のもと、本山仏教壮年連盟で新たに作成された綱領「われわれ仏教壮年は、自らの生き方を親鸞聖人のみ教えに聞き、ともに念仏申

願いたい。

兵庫教区仏教壮年会連盟理事長・大会実行委員長 平井孝彦

意

現在本願寺では「できることから始めよう」を合言葉に運動が進められて

いる◆高校の同窓会で、アンコロワット遺跡を訪ねる旅をした。後日「私は日本人でよかった」とのメッセージを添えて写真が届いた。長い内戦が終わって、笑顔の戻ったカンボジアではあるが、貧しい生活ぶりを見て、そう感じたのである。私はこのように何かにつけて、客観的に物を見る今日の風潮が、身に染み付いたことに疑問を抱いている◆洞爺湖サミットを前に、宗教者の代表が「貧困紛争」について話し合っ

てほしい。宗教者はさまざまな問題に感想を持つことが大切である。NHKの番組でイギリスの宗教学者、カールベッカー氏が「人は自らの限界を知ったとき、残されたのちをどう生きるかを真剣に考える」と言われたことが、深い感銘と共に伝わってきた。自身の限界を知らされると、他人事と傍観することはできない。自分と真向かいになる◆事実をいかに正確に伝えようと、自己を離れた評論は、厳に慎まなければならぬ。課題を共有し合っ

城崎組 清蓮寺 應供養生

教区だより		7月・8月	
7月	12日(土) 前期勤式練習所講習会 講師:和田宏之 師 13:00~		
	15日(火) 別院常例法座(16日まで) 講師:水杉悟史 師 13:30~		
	22日(火) 第45回少年連盟サマースクール(24日まで) 別院		
	24日(木) 総代会一泊研修会(25日まで) 別院		
	26日(土) 仏青全国真宗青年の集い(27日まで) 新潟		
8月	1日(金)~3日(日) 別院暁天講座 1日/山西 昭義 師 3日間ともに 7:00~		
		2日/本川 英 師	
		3日/谷川 弘 師	
	2日(土) 別院第1土曜仏教講座 13:30~		
	15日(金) 別院常例法座(16日まで) 13:30~		
	23日(土) 後期勤式練習所講習会 講師:光森龍樹 師 13:00~		
	30日(土) 後期勤式練習所講習会 講師:光森龍樹 師 13:00~		
	31日(日) 門推20周年記念大会 別院本堂 10:30~		

「現生正定聚」を 全ての僧侶・門信徒へ

すでに「承知の通り平成23年ご修行の親鸞聖人750回大遠忌法要にむけて、兵庫教区では「現生正定聚」を教区テーマに、すべての僧侶・門信徒が、このみ教えを学び、実践していくために、昨年度は教区や各組のさまざまな研修会や法座がおこなわれました。

一年を通じて69回開催された研修会の各組からの開催報告書をもとに課題や問題点感想などを集約し、より充実した研修となるよう今後の課題を含めて現生正定聚講師間で協議いたしました。当初の目標として「現生正定聚(げんしょうじょうじゆ)」という言葉を知って耳に慣れさせてもらう、読めるようになってもらう、広めてもらう、というこの取り組みは、各組各種教化団体等の研修会を通じてある程度達成されたと考えられます。

また、研修自体の内容について「テーマの重さ」と深さをあらためて感じた。それだけに、聖人の思想や生き方をもっと

学びたいと思った」というような声や、反面「なぜ、こんな難しいテーマを?」という疑問の声もありました。また、「いままでの法話と何が違うのか分からない。」「教義の説明ばかりでは難解」という意見もあり、色々な感想課題からリーフレットの活用方法や、分かりやすく伝えるための方法をさらに検討して、そして今年度は、教区内全門信徒が「何とか読めるようにならな」一度は聞いたことがあるから「現生正定聚とはこういうことだったのか」「浄土に生

まれることの意味とはこんな有難いことだったのか」と言ってもらえる年度としていくことが課題となりました。

今年度第一回目の僧侶研修会と講師団研修会が7月10日に開催されました。講師には、教学伝道研究所・常任研究員の葛野洋明師をむかえて、これまでの確認の意味を踏まえて「現生正定聚」の全容をお話いただきました。

「現生正定聚」が今、まさに信心の行者である念仏者がい

たいた得益であること、しかしながら、聖道門ではないので、いままですらに仏となつていくわけではない。それでは、どのようなものか「必ず仏になるべき身となれる」となり(一念多念証文)というご文から今すでに仏となること

定まったものであること、そして親鸞聖人には、もっと深いところの思いがあつてこのことを示されている。それは、信心とは如来の智慧であり菩提心であり仏性である。

信心獲得するということ

は撰取不捨なる阿弥陀如来の本願の救いを聞信していることです。撰取不捨であるから即時に正定聚の身と成らせていただくのです。と、お話しいただきました。

このことが宗教の課題である、さまざまなことがある人生の問題の解決となつていくものとなること今回の研修会に向けての思いで講演を結びました。

敬 弔

神戸別院報恩講にて 帰敬式実施

神戸別院報恩講にて、新たな帰敬式を実施いたします。

◆期日/平成20年11月28日(金)◆時間/午後4時半受式者は3時半に総会所集合◆執行場所/別院本堂◆冥加金/成人一万円、未成年五千円◆申込期限/9月28日◆内願期限/8月28日、内願懇志一万円以上◆担当/泉井

千鳥ヶ淵法要団参募集

毎年宗門の恒例法要として、東京・国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑において、ご門主様・臨席のもと「全戦没者追悼法要」が厳修されます。本追悼法要は、二度と悲惨な戦争を起さずしてはならないという平和への決意を、私たち一人ひとりが確かなめ合うためにお勧めされるものです。教区団参は蓮華会を中心に教区内全寺院を対象に募集します。往復新幹線・貸し切りバス利用。本願寺築

リーフレットお盆発行

平成20年リーフレット「お盆号」を発行いたしますので、ご入用の方は教務所までご連絡ください。

「浄土真宗の教章」が新たに制定

【教章制定についての親教】

宗祖親鸞聖人の御誕生800年・立教開宗750年を控えた1967年(昭和42)年4月、当時の宗門を憂えられた大谷光照門主が「浄土真宗の教章」を定められ、親鸞聖人の流れをくむものとして、心に銘ずべき肝要を示されました。以来40年余り、そのご教示は、浄土真宗門徒の信仰生活の規範となってきました。

一方、宗門は1946(昭和21)年に制定された「宗制」を根本にして活動してきましたが、このたび「宗制」が改正され、時代を超えた不変のことがらと時代に即応すべきことがらが整えられました。

それにともなって、新しい教章を制定いたします。

浄土真宗の教章(私の歩む道)

名 宗
祖 (ご開山)
派 山
本山 尊
本 尊
聖 典
義
活
門

浄土真宗
親鸞聖人
ご誕生 1173年5月21日(承安3年4月1日)
ご往生 1263年1月16日(弘長2年11月28日)

浄土真宗本願寺派
龍谷山 本願寺(西本願寺)
阿弥陀如来(南無阿弥陀仏)

- ・釈迦如来が説かれた「浄土三部経」
『仏説無量寿経』『仏説観無量寿経』『仏説阿弥陀経』
- ・宗祖 親鸞聖人が著述された主な聖教
『正信念仏偈』『教行信証』行巻末の偈文
『浄土和讃』『高僧和讃』『正像末和讃』
- ・中興の祖 蓮如上人のお手紙
『御文章』

阿弥陀如来の本願力によって信心をめぐまれ、念仏を申す人生を歩み、この世の縁が尽きるとき浄土に生まれて仏となり、迷いの世に還って人々を教化する。

親鸞聖人の教えにみちびかれて、阿弥陀如来のみ心を聞き、念仏を称えつつ、つねにわが身をふりかえり、慚愧と歓喜のうちに、現世祈禱などにたよることなく、御恩報謝の生活を送る。

この宗門は、親鸞聖人の教えを仰ぎ、念仏を申す人々の集う同朋教団であり、人々に阿弥陀如来の智慧と慈悲を伝える教団である。それによって、自他ともに心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献する。

この「教章」は、わが宗門に集う方々に、ぜひ心得ていただきたい浄土真宗の要旨であるとともに、新たにご縁のできた方に、み教えを理解していただくための手引きでもあります。

私たちは、近く宗祖親鸞聖人の750回大遠忌をお迎えいたしますが、この大遠忌を機縁に、先人の方々が身をもって伝えてくださった親鸞聖人のおこころを深く受けとめ、浄土真宗のみ教えを混迷の時代を導く灯火として高く掲げ、人々に広く伝えながら、ともに世の安穏をめざして歩みたいと思います。

この「教章」を身近に備え、折りにふれて参照し、浄土真宗に親しんでくださるよう期待いたします。

2008(平成20)年4月15日

門主 大谷光真

HO日誌

◆28日 別院団体参拝、岐阜教区中川南組仏教婦人会
◆29日 少年連盟役員会／基推総会◆30日 保育行事部会

6月3日 門推常任幹事会
◆4日 別院団体参拝、龍谷大学同窓会三八会／別院団体参拝、淡路組仏教婦人会／別院団体参拝、奈良教区宇陀南組住職会／第4回兵庫教区仏教婦人会連盟大会／蓮華会総会・研修会
*兵庫教区参与会「蓮華会」総会・研修会が本願寺神戸別院にて開催された。総会では

予決算、事業計画などについて報告がなされ、研修会では記念講演として「みんな光の中にいる」―青少年の心の闇をひらく―とのテーマで、青少年問題カウンセラー外松太恵子師に講演をいただいた。教区内全寺院を通してご案内していた記念講演には、総会から参加された会員のほか、教区内の幼児、青少年の教育に携わる方々が講師のお話を聞きに来院された。研修会のうちポートピアホテルにて懇親会が催され、コル花の皆さんによる首頭の披露など盛会であった。

長研修大会
*第21回まことの保育全国園長研修大会神戸大会が平成20年6月5日(木)～6日(金)と神戸別院本堂において開催された。本大会には総裁様(大谷範子お裏方様)をお迎えし、全国の幼稚園・保育園の園長・後継者・代表者ら216名が参加され、別院本堂は満堂となった。

この度のご講師には教学伝道研究センター所長・上山大峻師、ノンフィクション作家・柳田邦男氏を迎え「伝えようまことの保育 育てよう仏の子どもの大会」テーマに沿った研修を開催。

講演後には、ネルデイスカションを開催し、参加者とともに「まことの保育」推進の大切さ・幼少年教化の充実について討議がなされた。研修懇親会・記念講演と大会終了にわたって、参加者同士が「まことの保育」について熱心に語り合っている姿が印象的だった。/キッズサンガアドバイザー・担当若協議会(本山)◆6日◆7日 別院第一土曜仏教講座／別院仏教婦人会常例法座／別院団体参拝、安芸教区沼田組教徳寺◆9日◆7回宗門の国政選挙への取り組みに関する調査検討委員会(本山)◆



保育連盟総裁の大谷範子お裏方様ご臨席の開会式

10日 別院団体参拝、安芸教区志和組／布教団平成20年度総会並びに研修会・役員会／大遠忌法要 大阪市における法要行事常任委員会・津村別院／第3ブロック指導者研修会 奈良◆11日◆12日 寺婦、近同推研修会(本山)◆13日◆13日 キッズサンガサポート研修会・協議会／蓮華会計監査・理事会／特法協、清風会例会◆14日 前期勤式練習所講習会／別院子ども会◆15日 仏婦コーラス練習／別院団体参拝、山陰教区出雲組通伝寺／別院団体参拝、滋賀教区天南組称名寺仏教婦人会／別院永代経法要、講師は山口教区都濃西組善宗寺、香川孝志師、講師は「現生正定聚」◆16日◆16日 別院婦常任委員会／青僧会役員会／別院仏教壮年会◆17日 全国布教使大会(本山)◆18日 講社協議会／別院団体参拝、安芸教区兵庫組坊守会◆18日◆19日 組長・副組長組相談員等合同研修会、

*組長・副組長・組相談員等合同研修会が阪神ブロック担当で有馬温泉の「兆葉」で126名の参加者と来賓の宗会議員4名、教区会議長・阪神ブロック僧侶議員3名の総勢134名で盛大に開催された。「医

療と仏教の協力」のテーマで大分県の医師、田畑正久氏の講演、教区長期計画についての話し合いなどがあつた。来月2月7日から3月8日に大阪の国立文楽で公演の「法然と親鸞」では恵信尼さま役の前進座女優、今村文美さんも公演案内をされた。◆20日 別院団体参拝、安芸教区山県東組勝龍寺／別院団体参拝、安芸教区山県太田組念仏奉仕団◆21日 前期勤式練習所講習会◆22日 別院団体参拝、奈良教区十市組法林寺◆24日 びゅう連区協議会(八幡別院)／庶務常備会◆25日 蓮華会総会◆26日 別院団体参拝、岐阜教区岐厚組若婦人会／大遠忌法要・大阪市における法要行事常任委員会(津村別院)／矯正、大阪教区管区支部連絡協議会(津村別院)／仏婦近畿ブロック協議会(津村別院)◆28日 門推常任幹事会◆29日 別院団体参拝、滋賀教区天南組易行寺／別院団体参拝、大阪教区茨木西組◆30日 キッズサンガ会議／別院団体参拝、大阪教区高上北組萬福寺／少年サマースクールスタッフ会議／びゅう役員会／基推、同朋運動部門会議

この度、兵庫教区仏教婦人会連盟より、教務所へ「兵庫教区ダーナ号」を寄贈していただいた。幼少年育成、教化などに役立てていただきたいと、ダーナ会計より大型車(8人乗りワンボックスワゴン)の購入となった。6月4日、教区仏教婦人会連盟大会総会にて井上悦子仏教婦人会連盟委員長から松村彰道教務所長へ目録が贈呈された。今後、各組で始動するキッズサンガやサマースクール、または、子ども報恩講などで活用される。



井上仏婦連盟委員長と常任委員もダーナ号の前で

HODI誌

2月1日 保育全国実行

委員会 ◆2日 布教大会

◆3 連区仏道連絡協議会(和

歌山教区) ◆3日 ◆4日 青

僧会役員会 / 基推、ハンセン

病問題専門部会 / 基推、同

朋運動部門会議 ◆5日 社

推協常任委員会 / 別院団体

参拝、大阪教区茨木西組正

覚寺 / 役員会 ◆6日 第2

回連研のための研究会 ◆7

日 別院仏婦定例法座、講

師は加古川組普光寺近藤龍

樹師、講題は「現生正定聚」

◆8日 〓ビハラ泊研修会

役員会(姫路商工会議所)

◆9日 〓まことの保育研修

会、講師は中部学院大学非

常勤講師、加藤豊弘氏、講題

は、「どうすればいいの? 発達

障害の子ども達への支援」 /

モダン寺土曜子ども会 ◆10

日 〓仏青研修会(下巻の集い)

◆11日 ◆12日 教区同朋講

師団研修 ◆13日 別院団体

参拝、岐阜教区中川南組 /

蓮華会常任理事会・理事会

◆14日 現生正定聚講師団

研修会 / 僧侶研修会 ◆15日

〓矯正幹事会 / 寺婦コーラス

練習 / 別院常例法座、講師は

神崎組真楽寺寺本峰昭氏、

◆17日 連研履修者研修会

〓仏壮常任理事会 ◆18日 〓

愛生光明園交流会(愛生光

明園) / 別院団体参拝、安芸

教区高田西組 / 青僧会第6

回連続研修会、講師は、大谷

派藤場俊基師 ◆19日 〓保

全国大会実行委員会 ◆21日

〓同宗連役員会、学習会 ◆

22日 〓別院財産管理委員会、

責任役員総代会 ◆24日 〓別

院団体参拝、岐阜教区東陽

組門推 / 仏壮単位長会、寺

院代表者研修会 ◆26日 〓教

区議員協議会 ◆27日 〓青

僧会役員会 / 特法協勉強会

◆28日 〓仏青役員会 ◆29日

〓門推常任幹事会

3月1日 〓仏壮幹部養成

一泊研修会(本山) / 仏婦・

寺婦、仏教讃歌コーラスフェ

スティバル / モダン寺第1土曜

仏教講座、講師は、四洲教区

高知北組藤原亨師 ◆4日 〓

第7回真宗大谷派〓ンセン病

問題全国交流会(高山) ◆6

日 / 別院団体参拝、安芸教

区安芸北組西林寺仏教婦人

会 ◆5日 〓寺婦研修旅行(北

九州) ◆6日 / 少年役員会 ◆

師、講題は「現生正定聚」 ◆

8日 〓ビハラボランティア会

◆10日 〓保育総会 ◆11日

〓キッズサンガアドバイザー会

議 / 社推協評議員会 ◆12日

〓組長ブロック長会 / 近畿仏

婦活動推進協議会(奈良) ◆

13日 ◆14日 教区基幹運動

推進委員会総会 / 第4回「宗

門の国政選挙への取り組みに

関する調査検討委員会(本

山) / 青僧会役員会 ◆15日 〓

別院常例法座、講師は朝来組

照福寺石田保孝師、講題は

「現生正定聚」 ◆16日 ◆17日

〓布教使研修会 ◆19日 〓別

院団体参拝、ケアステーション

かんざき / 別院春季彼岸会、

講師は、神戸西組信行寺米田

睦雄師、神戸中組西方寺本川

英暁師、講題は「現生正定聚」

◆21日 ◆24日 〓別院団体参

拝、大阪教区河中南組恵光

寺仏教婦人会 / ビハラ役員

会 / 門推幹事会 ◆25日 〓別

院責任役員総代会 ◆26日 〓

第139回定期教区会 / 別院団

体参拝、奈良教区三山組仏教

婦人会 ◆27日 〓全国教区会

議長会同第2回総会(本山)

は岐阜教区中川南組蓮教寺

高田篤敬師 ◆6日 〓別院団

体参拝、兵庫大学新入生 ◆7

日 〓別院仏婦定例法座、講師

は、神姫組光輪寺棚原正智師

講題は「現生正定聚」 ◆10日

〓仏婦常任委員会 ◆15日 〓別

院常例法座、講師は網千組西

念寺青木敬介師、講題は「現

生正定聚」 ◆16日 ◆17日 〓青

僧会役員会 / 総代会平成20

年度総会 ◆18日 〓少年役員

会 / 仏婦総連盟総会(本山)

◆19日 / 別院責任役員総代

会 ◆20日 〓仏壮常任理事会

、理事會 ◆22日 〓ビハラ総会

公開講座 / 保育広報部会 /

別院団体参拝、佐賀教区松浦

組賢海寺 ◆23日 〓少年総会

◆24日 〓大遠忌、大阪市にお

ける法要行事教務所長・事務

員会議・常任委員会(津村別

院) ◆25日 〓寺婦新旧委員総

会 ◆27日 〓門推幹事会 ◆28

日 〓青僧会役員会 / 保育総

務部会 ◆別院団体参拝、備

後教区照尊寺仏教婦人会 ◆

30日 〓キッズサンガアドバイ

ザー会議 / 社推協二役会 / 組長

会合同研修会打合せ / 仏婦、

第22回恵尼様顕彰平和の

日の集い

5月2日 〓基推企画常任

委員会 / 布教団役員会 ◆3

日 〓モダン寺第1土曜仏教講

座、講師は、山陰教区松江組

真行寺準田真生師 ◆7日 〓

キッズサンガ推進部会 / 別院

団体参拝、和歌山教区有田北

組仏教婦人会 / ビハラ代表

者会議 / 別院仏婦定例法座、

講師は出石組西方寺幡多哲

也師、講題は「現生正定聚」

◆8日 〓基推、宗門の国政選

挙への取り組みに関する調査

検討委員会(本山) / 近畿地

区教区会議長会 / 青僧会研

修(写真(比叡山1日回峰行)

◆9日 ◆9日 〓組長会 ◆10

日 〓保育新任研修(本山) ◆

11日 〓別院団体参拝、長野教

区松本組宗玄寺 / 門推、平成

20年度総会・第46回研修会 ◆

12日 〓仏婦委員総会・幹部一

泊研修会、◆13日 ◆13日 〓全

国基幹運動推進相談員研修

会(本山) ◆14日 〓保育実



比叡山回峰行30kmの内22kmの生源寺で、まだ笑顔があるがこの後が…。

阪神北組圓行寺で5月27日に 組仏婦「若婦人部」結成二十周年

◆昭和60年の組画変更前より御園組として組の若婦人部を立ち上げていた阪神北組は、組画変更後早速に阪神北組仏教婦人会連盟若婦人部を結成し、今日まで20年を越える活動を続けてきた。大善会長である阪神北組後藤から「次代においてその中心となる宗教的情操豊かな青少年の育成も、私たちの責務であることは言うまでもありません。そこに宗門の発展が実現されるであります。」との言葉を引用され、「若婦人部の結成をはじめ、次代を担う方々のご活躍を期待します。」とご挨拶された。

今記念大会のテーマを、「いのちの母の手のひら」とし、日々痛ましい事件が

◆昭和60年の組画変更前より御園組として組の若婦人部を立ち上げていた阪神北組は、組画変更後早速に阪神北組仏教婦人会連盟若婦人部を結成し、今日まで20年を越える活動を続けてきた。大善会長である阪神北組後藤から「次代においてその中心となる宗教的情操豊かな青少年の育成も、私たちの責務であることは言うまでもありません。そこに宗門の発展が実現されるであります。」との言葉を引用され、「若婦人部の結成をはじめ、次代を担う方々のご活躍を期待します。」とご挨拶された。

今記念大会のテーマを、「いのちの母の手のひら」とし、日々痛ましい事件が

行委員会全体会／平成20年度全国門徒総代会総会（本山）／特法協、清風会例会◆15日Ⅱ第3連区布教団代表者会議（京都教区教務所）／別院常例法座、講師は淡路組宣徳寺藤榮行信師、講題は「現生正定聚」／16日◆17日Ⅱ仏青総会・第3連区連絡協議会、／18日

5月17日～18日と「第3連区仏教青年連盟連絡協議会」が兵庫教区担当にて開催された。今後の青年教化活動について、近畿各教区の代表者らが熱心に話し合った。また、恒例行事化しつつあるパドミントン大会は非常に盛り上がり、参加者全員笑顔でみちあふれていた。引き続き本堂で開催された降誕会にも参拝いただき、非常に充実した研修協議会となった。

◆18日Ⅱ別院仏壯総会／別院降誕会、講師は、大阪教区島下組千里寺武田達城師、講題は「今の救い」

*2008（平成20）年5月18日（日）宗祖親鸞聖人のご誕生を祝して、本願寺神戸別院本堂にて降誕会が修行された。

法要に先立って16日には仏壯・仏婦・ご門徒の方々ご協力のもと餅つきが行われ、18

日当日は午後1時より別院前庭にご尊立の宗祖像前にて輪番調声のもと「讃佛偈」をお勤めし、多くの方々焼香された。

また、1時30分からの本堂での法要には、仏壯・仏婦・兵庫大学茶道部の方々による伝供が行われ、16日に掲いでいただいたお餅を中尊前・祖師前・御代前にお供えさせていただきました。

お勤めは輪番導師のもと「正信念佛偈作法 第一種」が勤まり、僧侶間わず声高らかに正信偈を誦誦し祖徳を報じた。法要後、本願寺派布教使・武田達城師に「今の救い」と題してご法話をいただき、正午より兵庫大学茶道部の協賛による抹茶接待がおこなわれ盛儀のうちに降誕会をお勤めさせていただきました。

◆19日Ⅱ青僧会総会／ハンセン病問題交流会

*「ハンセン病問題基本法を制定し、開かれた国立ハンセン病療養所の未来を求める国会請願署名」を教区内全寺院各種教化団体の方々には大変なご協力をいただいた。その「ハンセン病問題基本法」が第169回国会で上程・採決が秒読みの段階であり、当初12月末までの署名活動をお

願っていたが5月末をもって終了。現在までの署名全体では、919,540名、教団全体では、58,098名、兵庫教区では、4,461名の署名をいただいた。

署名の目標を教団としては15万名とし、兵庫教区としても1万名という目標を掲げたが、何れも大きく及ばなかった。これは、急な依頼であったことも一つの要因となったが、この問題に対する関心の低さを表しているようにも思われる。昨年19年度から兵庫教区では、ハンセン病問題を設置し、教区内の施設である岡山の長島愛生園真宗同朋会と邑久光明園真宗法話会の方々を中心に報恩講などの場で交流会を開催し、今抱えている悩みなどを聞かせていただいた。その内容の多くは、過疎地域のお寺のように、平均年齢80歳を超える状況の中、法要・法事をどのような形式で執行行つていけばよいのかという不安などが主なものであり、この問題についてはその場で、参加された赤穂南岡山山組長や十方会の方々ご協力をしていただけのようになり、今現在交代で、法務や法要に出勤していただいている。そのことについては園の皆様には大

変喜んでいただいた。しかし、ハンセン病差別の問題には、未だ取り組めないのが現状。そのような中、両園の降誕会での交流会で真宗会館・西本願寺会館の高齢化と健康状態を懸念して、ご門主様のご臨席をいただき45周年をすでに開催したが、50周年に当たる今年どのようにするのが話し合われ、「ご門主様もしくは、新門様のご臨席が可能か、そのお心をお伺いしてほしい。本山での帰敬式受式が困難なためこの法要で受式したい。そして、何よりも今なお、残るハンセン病差別の問題の解消をめざす契機となるような法要としたい。」との願いであった。今後、同朋講座でこの問題を取り上げ、教区内のすべての僧侶門信徒が、差別や偏見の解消をめざし、入所者が本当の意味で差別や偏見から解放されるための努力が必要とされている。◆22日Ⅱ別院団体参拝、富山教区黒西組照順寺仏教婦人会／別院団体参拝、北海道教区札幌組安楽寺◆23日Ⅱ近同推総会、研修会◆24日Ⅱ別院団体参拝、鹿兒島教区南薩組西福寺◆24日Ⅱ別院子ども会遠足◆25日Ⅱ別院団体参拝、滋賀教区山東組西米寺仏教婦人会



記念大会で練習の成果を披露するコーラス隊、少し緊張気味